2024
2025

YCAM

2024年度のYCAMの事業

EVENT CALENDAR

2024 2025

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

ウェンデリン・ファン・オルデンボルフ新作展
2024年11月30日〜2025年3月9日

コロガルあそびのひゃっかてん2024
2024年7月13日〜9月15日

Yamaguchi Seasonal 2024
2024年8月10日〜12月1日

meet the artist 2022成果発表　中園町で逢いましょう
2024年9月13日〜10月6日

夏のヘウレーカ！
2024年12月13日〜2025年1月19日

YCAM Dance Crew 2024　ダンスブース展示
2024年6月29日〜11月10日

YCAM Dance Crew 2024　メディア・テクノロジーでダンスをパワーアップするワークショップ
2024年8月2日〜4日

真夏の夜の星空上映会2024
2024年8月9日〜11日

YCAM爆音映画祭2024
2024年8月29日〜9月1日

Audio Base Camp #3
2024年10月11日〜14日

YCAM Interlab Camp vol.5　ホモ・コーデンス
2024年10月25日〜27日

かてぃんピアノがやってきた＠YCAM
2024年4月3日〜14日

サーカス・シルクール　ニッティング・ピース
2024年11月9日・10日

串田和美×小林聡美　朗読と音楽
2024年12月7日

カンパニーデラシネラ　はだかの王様
2025年2月15日・16日

山内祥太　匂いのパフォーマンス・インスタレーション
2025年1月11日〜2月2日

ショートフィルム フェスティバル in YCAM
2025年2月5日〜11日

sound tectonics
随時

未来の山口の授業 at School 2024
通年

YCAMぐるぐるラジオ Season3
通年

やまぐちアートコミュニケータープログラム2024　架空の学校「アルスコーレ」
通年

YCAMシネマ
通年

ウェンデリン・ファン・オルデンボルフ新作展

2024年11月30日～2025年3月9日

オランダの現代美術を代表するアーティストの一人ウェンデリン・ファン・オルデンボルフの新作を発表する展覧会です。ファン・オルデンボルフはこれまで映像作品やインスタレーション作品を通じて、人種差別、ジェンダー問題、歴史、植民地主義などの支配的言説や権力構造に対峙する作品を発表してきました。とくに近年は、日本とオランダ、そしてインドネシアにゆかりのある女性アーティストのリサーチを進めており、そのなかには山口ともゆかりの深い、女優で映画監督の田中絹代（1909年～1977年）や、作家の林芙美子（1903年～1951年）が含まれます。今回発表する新作では、そうした女性アーティストたちに焦点をあて、彼女たちの視点を通して制作した脚本による映像とサウンドを用いたインスタレーションを展開します。

参考写真：《彼女たちの》（2022年）　写真：森田兼次

メディア史における
ジェンダーを紐解く

ウェンデリン・ファン・オルデンボルフ
Wendelien van Oldenborgh

1962年ロッテルダム生まれ、ベルリン在住。人びとと協働しシナリオや設定を作り上げる映像制作を、諸形態の作品を生み出すための方法であり言語として探究してきた。近年、第57回ヴェネチア・ビエンナーレオランダ館（ヴェネチア、2017年）などでの個展を開催したほか、シンガポール・ビエンナーレ（シンガポール、2019年）、あいちトリエンナーレ（愛知、2016年）、キーウ・ビエンナーレ（ウクライナ、2015年）など数々の国際展に参加。

Photo: JakubDanilewizc

撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

百貨店に子どもたちの
学びの場が今年もオープン

コロガルあそびのひゃっかてん2024

2024年7月13日～9月15日

子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。
「コロガル公園シリーズ」は2012年にYCAMで登場して以来、好評を博しており、国内の芸術祭や商業施設などで派生バージョンを発表してきました。昨年に引き続いて開催する今回も会場は山口市中心市街地に位置する百貨店、山口井筒屋です。小学2年生以下の子どもを対象としており、不定型な床面など、利用者が遊びを生み出すきっかけとなるようなしくみが空間内に多数散りばめられているほか、商業施設という立地を活かして、他者や社会とつながるコミュニケーションの場としても設計されています。遊びながら考え、考えながら遊ぶというプロセスを繰り返すことで、思考の柔軟性と創造力が刺激される子どもたちの「場」を生み出します。

撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

アートとメディアテクノロジーの遭遇が山口の風物詩になる

Yamaguchi Seasonal 2024

2024年8月10日〜12月1日

YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市内の各所で公開する展覧会です。
YCAMは、開館以来、メディア・テクノロジーを応用した新たな表現の探求を活動の軸に据えており、さまざまなアーティストと多種多様なインスタレーション作品を制作／発表してきました。今回は、音楽家・坂本龍一とYCAMによるインスタレーション作品「Forest Symphony」などを展示。私たちを取り囲む都市と自然の変化へと意識を開く契機を生み出していきます。

Yamaguchi Seasonal 2024：坂本龍一 + YCAM

Forest Symphony

坂本龍一

1952年生まれ。78年にアルバム『千のナイフ』でデビュー、同年YMOに参加。YMO散開後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家としてアカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得た。2007年に山口情報芸術センター[YCAM]で委嘱制作された高谷史郎との《LIFE – fluid, invisible, inaudible ...》を発表。以降、インスタレーション作品の発表を数多く行なった。2013年にはYCAM10周年記念祭のアーティスティック・ディレクターを務めた。2023年3月28日死去。

撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

山口の古民家から考える、
記憶の継承と公共空間のあり方

meet the artist 2022 成果発表

中園町で逢いましょう

2024年9月13日～10月6日

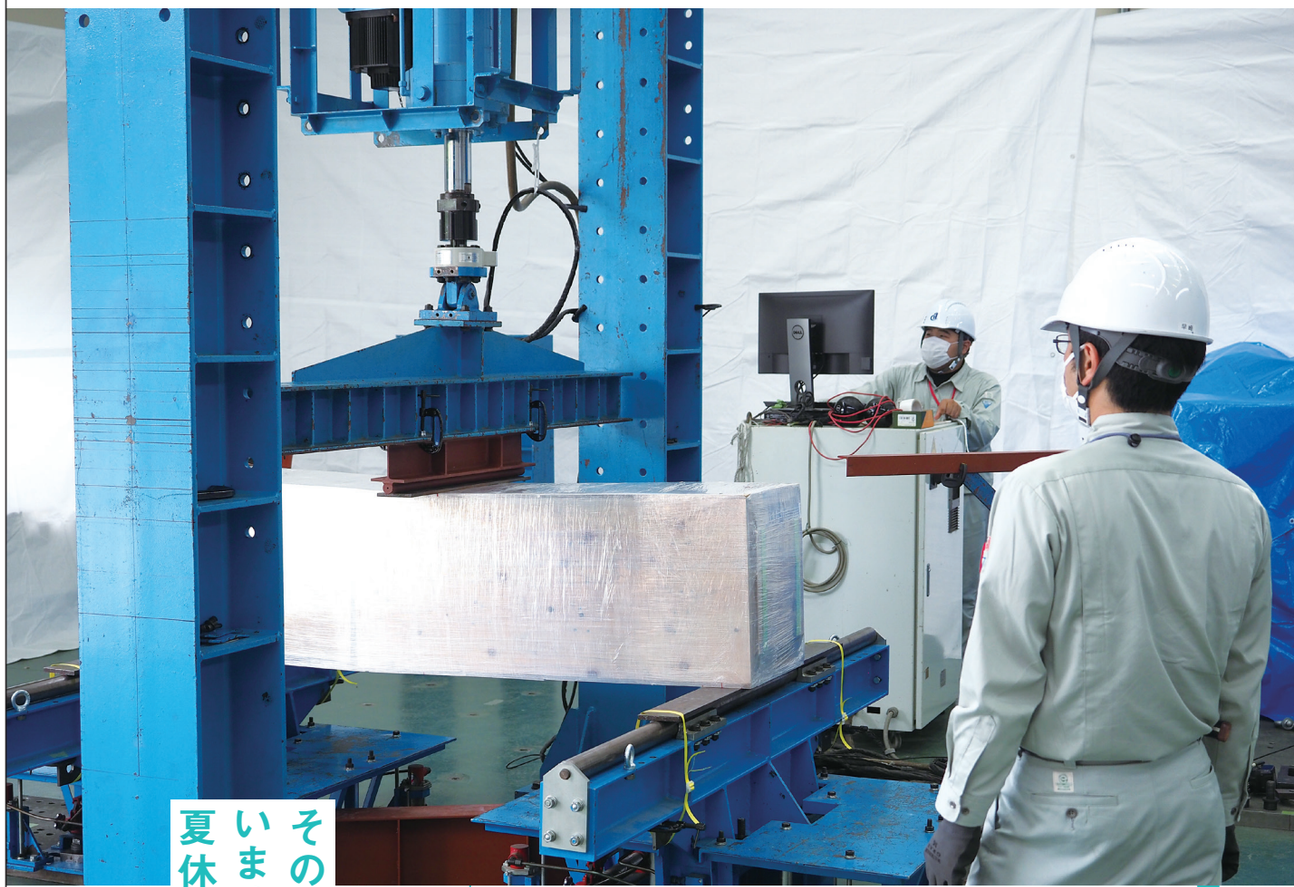
山口市内の空き家を活用して一時的に文化施設を創出する、市民参加型のアートプロジェクト「meet the artist 2022：メディアとしての空間をつくる」の成果を紹介するイベントです。
このイベントでは、プロジェクトで最終的に解体した古民家の一部を会場となるホワイエに再現します。そしてその内部で古民家をかつて構成していた部材を、さまざまなクリエイターらと什器や家具などに変換する作業を展開するとともに、プロジェクトの取り組みを紹介する様々な資料を展示します。また会期中には、プロジェクトで実施したトークイベントやコンサートなどのイベントなども再現。YCAMの中に新しく、小さな公共文化施設を一時的に創り出します。

撮影:谷康弘

meet the artist 2022：メディアとしての空間をつくる

市民をはじめとするプロジェクトメンバーが中心となって1年間にわたり、クリエイティブな活動をおこなうアートプロジェクトのシリーズ「meet the artist（ミート・ジ・アーティスト）」の第7弾。2020年に始まったコロナ禍により、感染症対策の観点から人と人とが集まることに制約が加わるようになりました。これにより、ライブハウスや美術館、劇場など、イベントをホストする空間も、その活動のあり方の見直しを余儀なくされました。このプロジェクトでは、全国的にも高いレベルの空き家率を誇る山口市をフィールドに、空き家を解体／改修しながら、ごく小規模なイベントスペースに転換。そしてYCAMがこれまで培ってきた公演や展覧会などのイベント制作のノウハウや、クリエイターとのネットワークを駆使して、多種多様なイベントを実施しました。

撮影:田邊アツシ



その道のプロが
いま改めて取り組む
夏休みの自由研究

夏のヘウレーカ！

2024年12月13日～2025年1月19日

アーティストやエンジニアら、ある分野の専門家が、小学校や中学校などで実施されている「夏休みの自由研究」に挑戦した成果を紹介する展覧会です。
現在、日本国内の多くの学校で夏休みの宿題として実施されている自由研究。この源流のひとつには、19世紀末に欧米で勃興した「新教育運動」と呼ばれる教育改革運動があります。この運動で重視されていた、学ぶひとの関心や自発的な学びを尊重した教育の手法は、自由研究のみならず、今日の教育制度にも影響を与えるとともに、アートの潮流にも大きな影響を与えました。
この展覧会では、この自由研究を題材に、実際に専門家がそれに取り組むことによって、「自由さ」や「探求の姿勢」を浮かび上がらせるとともに、アートや科学などの分野で幅広く用いられる「実験」という営為の社会的な意義について再考していきます。

YCAM Dance Crew 2024

ダンスブース展示

2024年6月29日～11月10日

カメラやセンサーが埋め込まれたブースの前で体を動かすことで、誰でも楽しくダンス映像を撮影／演出することが出来る体験型の展示です。
ダンス映像にエフェクトを追加したり、会場の照明を変化させるなど、ダンスに連動したさまざまな仕掛けを組み合わせて自分だけの映像をつくりませんか？
AIが最適なエフェクトを選ぶなどパワーアップしたブースにも注目してください！
2021年からスタートしたYCAM Dance Crewの軌跡を紹介するアーカイブ展示を同時開催します。

自分だけのダンス表現に挑戦しよう！ダンスが進化する体験展示

撮影:山中慎太郎（Qsyum!）

YCAM Dance Crew 2024

メディア・テクノロジーでダンスをパワーアップするワークショップ

2024年8月2日～4日

プロの振付師やダンサーと共に、ダンス映像の撮影と編集にチャレンジする、3日間のワークショップです。
会場に用意した撮影のためのオリジナルツールやブースを使ってYCAMスタッフと一緒に、テクノロジーを駆使して、いつも見ているものとは一味違うダンス映像をつくりましょう。映像初心者も歓迎！制作した映像はSNSからもアップロード可能です。自分のダンスをより魅力的に発信してみましょう。

ダンスと映像の魅せ方を探る3日間

撮影:田邊アツシ

撮影:谷康弘

真夏の夜の星空上映会2024

2024年8月9日～11日

隣接する山口市中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。
心地よい夜風と星空のもと、多彩なジャンルの映画を上映することから、多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として大きな賑わいを見せています。今回は3日間に渡ってアニメーション映画など、親子連れからお年寄りまで楽しめる3本の映画を上映します。また会場周辺には飲食店の露店も並びます。

夏の風物詩、今年も開催！

撮影:谷康弘

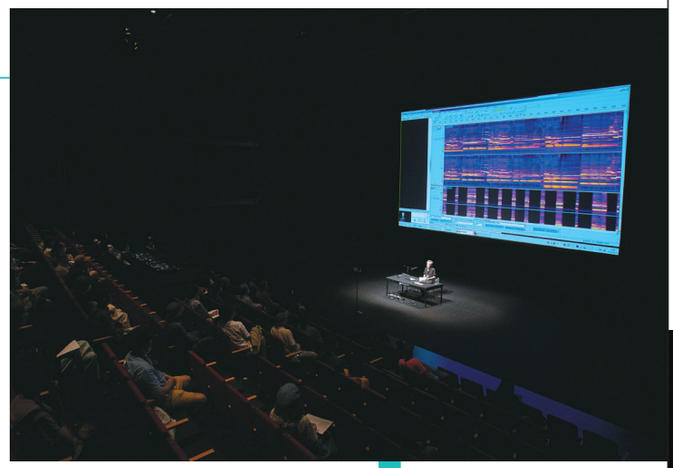
YCAM爆音映画祭2024

2024年8月29日～9月1日

YCAMの音響環境を最大限に利用し、繊細な大音響で映画を鑑賞する上映イベントです。
爆音映画祭とは、映画評論家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントで、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するものです。今年も樋口の監修のもと、国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、工夫に溢れたセッティングで上映を実施し、これまでにない映画体験を創造します。

日本最強の爆音映画祭

撮影:谷康弘



Audio Base Camp #3

2024年10月11日〜14日

高いクオリティの音響機材をセッティングした空間で、特定のテーマに沿った録音物を聴取するリスニングイベントの第3弾です。
アーティストでサウンドエンジニアの大城真を監修に迎え、研究者やアーティスト、ミュージシャンなどさまざまな専門家が、自作の楽曲や、フィールドレコーディング、アンビエント音楽といったテーマに応じて多種多様な録音物を紹介します。またレコードに造詣の深い「目利き」とも言えるDJたちによるDJプログラムも開催します。

録音物の深淵を覗く

撮影:谷康弘

YCAM Interlab Camp vol.5

ホモ・コーデンス

2024年10月25日〜27日

第一線で活躍する技術者や研究者を迎え、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズの第5弾です。
昨今、AIを介したクリエイティビティが注目されています。AIによって、人間の創造性がある種デジタルな方向で拡張されるとき、私たち自身が持つフィジカルな性質はどのようにそれに呼応するでしょうか。コードを書くという行為がより一般化した時に、人間の創造行為にもたらされる影響について考察を深めていきます。

第一線で活躍する技術者や研究者がYCAMに集結

角野隼斗のピアノがYCAMにやってくる

かてぃんピアノがやってきた@YCAM

2024年4月3日〜14日

ピアニストの角野隼斗（かてぃん）が愛用するアップライトピアノを自由に弾くことができる、ストリートピアノ形式のイベントです。
このピアノは角野の全国ツアーで使用された世界最高峰のピアノメーカーであるスタインウェイ製のアップライトピアノで、このピアノが持つ、優しさに包まれるような音色の魅力を多くのひとに感じてもらおうと、全国各地に無償で貸し出すプロジェクトがおこなわれています。会期中にはロビーコンサートも開催します。

世界を魅了する現代サーカスカンパニーの来日ツアー

撮影:Karoline Henke

サーカス・シルクール

ニッティング・ピース

2024年11月9日・10日

スウェーデンのストックホルムを拠点に活動し、スカンジナビアを代表する現代サーカスのカンパニー、サーカス・シルクールの6年振りとなる来日公演です。
本作は、世界14カ国63都市で上演され、ドキュメンタリー映画『YARN 人生を彩る糸』のなかでも紹介された人気パフォーマンスの一つ。平和を願う白い糸とロープが紡ぐ幻想的な舞台の中で、サーカスアーティストたちがときに儚くもダイナミックなパフォーマンスを繰り広げます。

串田和美×小林聡美
朗読と音楽

2024年12月7日

串田孫一の残した思索の言葉に心を寄せる

俳優で演出家の串田和美と女優の小林聡美が、音楽とともに朗読をおこなうイベントです。
山を思い、音楽や楽器と語り合い、日常を深く探索した詩人、哲学者、随想家の串田孫一。彼の残した思索のことばを、孫一の長男である串田和美と、無類の読書好きである小林聡美が朗読します。朗読にあわせて音楽を演奏するのは、東京を拠点に活動する竹内理恵（バリトンサックス）とギデオン・ジュークス（チューバ）によるインストゥルメンタル・デュオ、Music for Isolation。ゆったりと響く温もりのある音が、随想に寄り添います。

カンパニーデラシネラ
はだかの王様

2025年2月15日・16日

小さな子どもから大人まで楽しめるパフォーマンス作品

誰もが親しむ物語を、演出家・小野寺修二の独自の演出により、無言劇として展開します。パントマイムの要素をベースとする削ぎ落とされ、洗練された動きとシンプルな舞台装置による構成ながらも、観客を巻き込んだ楽しい演出や仕掛けも多数。舞台と客席との一体感を存分に味わえるパフォーマンス作品です。

撮影:釣井泰輔　提供:高知県立美術館

photo by Yuki Moriya

私たちにとっての匂い、嗅ぐ行為とは？再発見の旅に観客を誘う体験型作品

山内祥太
匂いのパフォーマンス・インスタレーション

2025年1月11日～2月2日

デジタル時代の身体のありかを生々しく表現する、アーティストの山内祥太によるパフォーマンス・インスタレーション作品を発表します。
山内はこれまでクレイアニメーション、VR、3DCG、モーションキャプチャーシステムなどのさまざま技術を操りながら、インスタレーションや映像、パフォーマンス作品を手がけてきました。今回発表する作品では、私たちを取り巻く「世界の匂い」、そして「自分自身の匂い」をテーマに、さまざまなものから匂いを抽出する工程を「匂いの実験の場」としてYCAMに立ち上げます。

山内祥太
1992年生まれ。自己と世界との関係性や、現実と空想の裂け目といったものをさまざまな方法で明らかにしようと試みてきた。映像、彫刻、VR、パフォーマンスなど表現メディアは多様で、身体性の生々しさや人間らしい感情と現代のテクノロジーを対峙させ、作品制作を行う。
主な個展に「メディウムとディメンション:Apparition」（東京／2023年）など。主なグループ展に「六本木クロッシング2019展:つないでみる」（東京／2019年）、「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2022」（オーストリア、リンツ、2022年）など。

ショートフィルムフェスティバル in YCAM

2025年2月5日〜11日

劇場のスクリーンで見る機会の少ない世界の短編映画を上映する上映イベントです。
1999年より日本各地で開催されている米国アカデミー賞公認・アジア最大の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」（SSFF&ASIA）と連携して開催するこのイベントでは、アニメーション、劇映画、ドキュメンタリー作品といった多様なジャンルの世界中の優れた短編映画を上映します。ほかにもトークイベントやVR作品の展示なども開催。世界各国の多様な文化に触れるとともに、劇場で映画に触れることの楽しみを感じることができるでしょう。

撮影:塩見浩介

世界の短編映画がYCAMに集結！

sound tectonics

随時

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズです。
10月26日に開催するコンサートでは、コンピュータープログラムをステージ上で操作、実行することで音や映像を生成するパフォーマンスの技法「ライブコーディング」をテーマに開催します。

撮影:塩見浩介

音楽の新たな可能性

「学びのプラットフォーム」としてのYCAM

未来の山口の授業 at School 2024

通年

YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施するプロジェクトです。
山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校で、YCAMが開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催します。情報を分かりやすく伝達、発信する能力や、プログラミング的思考などの能力を育み、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。

撮影:塩見浩介

YCAMの「いま」に触れるインターネットラジオ番組

YCAM ぐるぐるラジオ Season3

通年

YCAMオリジナルのインターネットラジオ番組です。YCAMのスタッフがナビゲーターとなり、YCAMに訪れるさまざまなクリエイターらをゲストに迎え、ゲストへのインタビューをお届けするほか、リスナーから寄せられるメディア・テクノロジーや芸術表現、山口の生活など、様々な質問やお悩みを一緒に考えていきます。Season3では、2023年度に実施したSeason2に続いて、YCAM館内で毎月公開収録イベントを開催、ナビゲーターやゲストとの新たな交流のチャンネルを開いていきます。

撮影:塩見浩介

やまぐちアートコミュニケータープログラム2024

架空の学校「アルスコーレ」

通年

アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラムです。全国の美術館や美術大学を中心に「アートコミュニケーター」と呼ばれる活動が注目を集めています。このプロジェクトでは、公募で集まった高校生からシニアまでの幅広い世代のメンバーを対象に、多様なプログラムを実施。イベント制作に必要なさまざまなノウハウはもとより、街の賑わいや、街の新たな魅力を生み出す視点を養っていきます。

アートや学びに関する
イベントのノウハウを身につけよう

撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

架空の学校「アルスコーレ」

2022年度から「やまぐちアートコミュニケータープログラム」と、プログラムが展開される山口市中心商店街を「アルスコーレ」と呼ばれる架空の学校に見立てて活動を進めています。プログラム・ディレクターを務めるのはデザイナーの三宅航太郎と、美術家・映像作家の山城大督のふたり。世代やバックグラウンドに関わりなく、アートへの関心、自主的な学びへのモチベーションをもとに、仲間と共に学び合いながら学校生活を作っていきます。

撮影:勝村祐紀

古典から最新作まで
幅広く上映

YCAMシネマ

通年

国内外の優れた映画を選定し上映しています。会場となるスタジオCは、35mmフィルムからデジタル上映まで幅広い上映素材に対応した上映機材を備え、鮮明なデジタル作品だけではなく、今や上映機会の少なくなったフィルム作品も鑑賞できます。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代かつ、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催します。

チケット料金

一般	any会員	特別割引	25歳以下
1,300円	800円	800円	800円

※チケットは、会場前の受付にてご購入ください。
※上映内容によっては料金が異なる場合がございます。詳しくはウェブサイトや上映スケジュールをご確認ください。
※any会員の方は会員証を、割引対象の方は年齢が証明できるもの、また、割引券や招待券をお持ちの方は受付でご提示ください。
※特別割引は、シニア(65歳以上)と障がい者および同行の介助者が対象となります。
※2024年3月現在の料金です。

2024
2025

ycam.jp

山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 information@ycam.jp

開館時間　10:00～20:00（イベント開催時は22:00閉館）
休館日　火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）
年末年始（12月29日～2025年1月3日）
施設のメンテナンスなどに伴う休館日（4月25日、2025年2月26日～3月6日）